

令和8年度 政策討論会 第1分科会(第3回)要点記録

- ・テーマ 男女共同参画、ジェンダーフリー社会の実現について
- ・日時 令和8年 7月 7日(火)
- ・場所 第2委員会室
- ・会議時間 10:00～11:02
- ・出席者 高比良 正明(座長)
藤原 豊和(副座長)
反甫 旭
南 加代子
井舎 英生
西田 武史
桑原 佳一
岸田 厚

＊座長、副座長以外は議席番号順

・決定事項

1. 論点を、成果指標 10・11(審議会等における女性の割合、女性委員が不在の審議会)を中心に絞り込む。時間があれば指標 12(市職員の管理職における女性の割合)まで広げる。
2. 座長が、委員を選任している審議会の中から、女性の視点が特に必要と思われるものを抽出する。あわせて男女共同参画センター(担当課)が持つ達成状況・未達理由等の情報を取り寄せ、委員へメールで事前に共有する。
3. 各委員は、共有された資料をもとに自身の考えをまとめるとともに、先進事例を各自調べて次回持ち寄る。
4. 次回日程
令和8年 8月 5日(火)10:00～

・発言要旨

高比良座長

- ・議会発言しましたが、6月29日、岸本聡子杉並区長が再選を果たしました。
- ・4日の子ども議会顔合わせでも、子ども議会の女性比率が市議会を超えているとも話しました。
- ・昨日にじの会も参加した近畿市民派議員学習会でも、圧倒的に女性議員が参加していたことも含め、このように、まだまだ本市は議会を含め、女性参画だけでも遅れており、それが市民意識や女性参加を妨げている。
- ・本会では、男女共同参画条例の問題点を改善したかったところではあるが、初めての女性・ジェンダーをテーマとしたこともあり、先ずは39/78が開催されている審議会での女性参加なしの4会、参加がなされていても一般的に女性参加が望ましいと考える、いくつかの会での女性参加率50%超えに向けて、その募集から見直すなどを提言し、女性管理職比率についても、時間があれ

ば提言していきたい。

藤原副座長

- ・プランを読み込んだ率直な感想として、成果指標 17 項目でほとんど中間目標を達成できていないことが衝撃的だった。特に当初値(令和 3 年度)より数字が下がっている指標が複数あり、指標 6「子どもの個性や能力にあった教育が行われていると感じる市民」、指標 9「働きながら子育てできる環境」、指標 17「子どもを生み育てやすい」など、子育ての観点が最も大きな課題になりそう。
- ・まず何を課題にするかを決めてから手段を議論の方がスムーズ。全体を通じて「認知が低く、啓発が必要」という点が共通認識ではないか。
- ・座長の方向性(周知と、市に関わる場の女性数の改善)に賛成。ただし「半々」という数値は議論の余地があり、日本全体の正社員の男女比や管理職の構成も踏まえ、柔軟に考えるべき。

井舎議員

- ・一般市民には、「男女共同参画推進」が分かりにくい、ことばが難しい。
- ・座長は、本市の色々な審議会や委員会への女性委員などが少ないと言うが、専門性を求められる審議会委員会では、一般女性では困難な場合が多い。
- ・私は、各種の審議会委員会を傍聴しているが、専門性を有する女性委員は、十分に発言されており人数の問題ではない。
- ・ほとんど全ての審議会委員会への市民参加の実態は、男性市民でも年配者が大半であり、若年男性は皆無である。女性でも同じ傾向があると思う。
- ・次回は、女性委員がゼロの審議会及び委員会の実態について調査し議論しましょう。
- ・座長が、大声で強く発言するのは慎みましょう。

西田議員

- ・現状では男女共同参画についての市民意識が低いと感じられる。市として意識向上となるやり方をまず考え、行うべきである。また、意識調査においても無作為抽出とはいえ 3000 人のみではあまり参考にならないのではと考える。現状のやり方に加えて市の SNS などに加えて 1 人でも多くの市民の意見を集約すべきだと思う。

桑原議員

- ・第4期きしわだ男女共同参画プラン(改訂版)の11ページにある、成果指標一覧の11では女性が1人でもあれば達成はどうかと思います。それぞれ半数あるのが望ましいと思います。
- ・また、成果指標一覧の12では部課長や主幹級の目標が低すぎます、半数が望ましいと思います。
- ・前回、広範囲になるので第4期きしわだ男女共同参画プランの中に絞りましょうの提案でプランの中身の議論に入りました。先ほどから聞いていると大体成果指標の10、11に絞られてきたと認識しますがそれで宜しいでしょうか？
- ・そうしないと座長のお話にあった子ども議会まで話を広げると、まとまらないと思います。

- ・審議会等を各自で選択して持ち寄るでは39の審議会等に広げての議論になりますので絞ってはいかがでしょうか？

- ・たとえばゼロの4つの審議会等に絞るはいかがでしょうか？

岸田議員

- ・男女共同参画推進プラン(以下プラン)における成果指標で、目標値と中間値が大きく乖離している項目がある。

- ・審議会の男女比率が低い審議会がある、そもそも女性委員がいない審議会もある、そこをどのようにしていくのか、男女比率が低い審議会も含め審議会の委員募集の時に男女の数を決めて募集すれば解決することではあるが、それだと男女平等や、ジェンダーの理解はすすまない。

- ・そもそも、プランそのものの基本理念(1)～(6)がどれだけ市民に浸透しているのか、やはり啓発が必要であり、その検証が必要ではないか、根本問題を議論する必要がある。

南議員

- ・17番は元々の目標値が低すぎるので、中々あがることはないだろうと思っている。そもそも市民意識調査はこの指標に対して調査時点の元々市民がどのように感じているのか、私たちが学ぼうとしているところにどう繋がっているのか、把握が難しいが見ていく必要がある。例えば基本目標の1番は目標値が高いが達成度が低く、行政や私たちで啓発に取り組まないと、目標値に現れてこないと考えており、そこがこのテーマの一番難しいところだと懸念している。

- ・審議会の女性委員の数を上げていくためには、各審議会や委員会の開催時間帯や内容を調べて考えるべき。女性委員にどんな役割が求められ、意見したり活躍の場があるかなど理解したうえで手を挙げてもらえているのかなどわからないので、公募の方法や任命のされ方を知ることが根本的に大切ではないか。数だけに捉われるのではなく、人として尊重することが大切。専門性が必要な委員会もあり、丁寧に説明しないと参画してもらえない。数値を上げるには、丁寧に進め、参画しやすい状況をつくることも考える必要がある。

- ・色々な世代からも参画してもらいたい、自分らしく働きたい等、重視するところが変わっている。単に比率をあげることが良いとも限らない。

反甫議員

- ・審議会の女性委員の人数が目標に達していないが、何か背景があると思うのでその点を詳しく知りたい。また、市役所の女性の部長職の割合なども目標に達していないが、どういう働き方が望まれているのか考えていきたい。